

# 難病ケアカフェ

現在、難病支援に関わっている支援者・関わっていきたいと思っている支援者同士で日々の支援で困っている事・悩んでいる事、事例検討や勉強会等「ああでもない、こうでもない」と座談会のようなゆる～い感じで学び合いませんか？

〈テーマ〉

## 「パーキンソン病/症候群の、BPS(P)を考える」

※BPSは行動心理症状の略  
認知症(D)の場合、BPSDと呼ばれますが、Dは付けるべきではないという意見があります。パーキンソン病/症候群に伴う場合、そうした呼び方はないため、カッコつきのPを加えました。重度の場合、支援の課題になりやすいと思います。今回は、セクハラ的傾向、家人への暴言など、支援の負担を抱えながら、ご本人ご家族をどうささえるか、ケアマネジャー、訪問看護師、担当医師の報告を元に、皆さんの経験を交換することができればと思います。

〈登壇者〉

平 さゆり

主任介護支援専門員（修徳居宅介護支援事業所）

辻井 美帆

看護師（ツクイ京都訪問看護ステーション）

辻 輝之

医師（医療法人七生会 辻 医院）

難病ケアカフェ 難病ケアカフ



開催日時 4月9日(水)18時開始 19時30分頃終了予定  
開催方式 Zoom  
申し込み QRよりご登録ください

主催：京都難病ケア Study Group事務局  
080-9640-7740(瀬津)